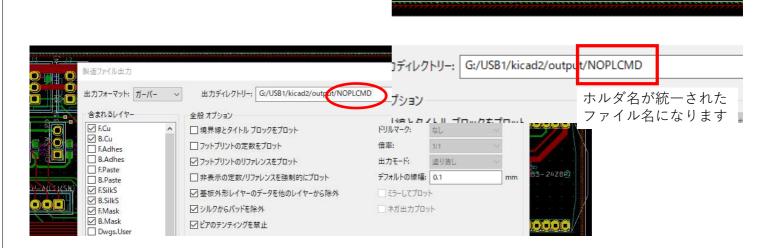
Kicad でPCB発注

Elecrow Fusion-PCBへ発注する ガーバーデータの変換バッチフィルの使い方

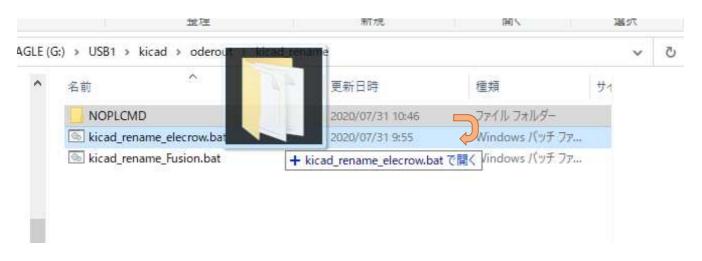
発注用データのファイル名を設定

ガーバーデータをまとめたホルダー名が発注用ファイル名になるので、ホルダ名を指定してガーバーデータを主注力します



発注したいメーカーのバッチへドロップ

• ガーバーデータをまとめたホルダー名(今回はNOPLCMDとする)を ElecrowまたはFusionのバッチファイルヘドラッグ&ドロップ



変換されたファイルがホルダへ

• 日付とメイカー名のついたホルダ内のデータをZIP化し、 見積もりサイトで見積れます。基板外形寸法などデータを確認 すること。Fusionだとガーバーを確認できます。例では、2社 とも実行してみました。

^	名前	更新日時	種類
	2020-0731-104702_elecrow	Elecrow用 10:47	ファイル
	2020-0731-105848_Fusion	■ Seeed Fusion用	ファイル
	NOPLCMD.drl	2020/07/29 21:52	DRL 7;
	NOPLCMD-B_Cu.gbl	2020/07/29 21:52	GBL 7;
	MODICMOR Mark obe	2020/07/20 21:52	GRS 7-

• 後は各PCBメーカサイトの自動見積もりで呼び出す。

